



TSUNAGU

- 小から中への滑らかな接続にむけて -

令和7年11月7日

我孫子市小中一貫教育だより
第386号

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

小中一貫オリジナルカリキュラム授業実践の様子を紹介するうな～！

「未来に残してつなぐ ふさ プロジェクト」～町たんけんをしよう

布佐南小学校の2年生が布佐カリキュラムの一環として生活科の学習を行いました。これから行われる町探検に向け、布佐地区の地図を作成する学習です。

最初に、担任の先生から大きな白地図が提示されました。子供たちは「大きい地図だね。」「でもかいてあることが少ないね。」「色もないね。」「さみしい感じ。」と感想を声に出しました。そこで先生から「みんなで一緒に学校の周りを歩いたときに見つけた場所、生活の中で見つけた建物など、どんどん書き込みましょう。」と本時の課題が伝えられました。

「南公園はここだね。」「近隣センターはここかな。」「図書館はどこだろう。」と、グループで相談しながら地図にどんどん書き込んでいきます。「僕の行っていた幼稚園はここだよ。」「私の保育園も入れたいな。」「少年野球はここで練習しているんだ。」と、自分と関わりの深い施設には特に強い思いが溢れ、友達に紹介しながら積極的に取り組みました。

次に、全体で各グループが作成した地図を共有しました。「みんなが使う建物は赤色の印、公園は青色の印でかきました。」や「利根川は青、木を緑でかいてみたよ。」など、子供たちの地図が見やすくなる工夫がたくさん紹介されました。

この地図作りを通して、子供たちはこれから始まる町探検への期待が大きく膨らみました。学習の最後には「探検が楽しみだな。」「タブレットを持っていきたいね。」と、さっそくグループで話し合う姿が見られました。



「未来に残してつなぐ ふさ プロジェクト」～布佐のたからを見つけよう

布佐南小学校の3年生が布佐カリキュラムの一環として総合的な学習を実施しました。最初に担任の先生から学習のゴール「布佐の自慢をたくさん見つけて、すごろくを作しましょう。」と発表されると、子供たちは大盛り上がりです。「楽しそう。」「先生とも一緒にやりたい。」と、学習に対する意欲が膨らみました。

まず、ワークシートが配付され、「かるたにしたい布佐の自慢を1人10個、集めましょう。」と課題が設定されました。子供たちはこれまで学習したものがまとめられたファイルの他、たくさんの布佐情報が書かれた資料プリント、『我孫子みんなのアルバムから』『ふるさと我孫子の先人たち』の本が準備され、たくさんの資料から意欲的に情報を集めました。



「宮ノ森公園に大きな穴があるよ。」「神社が多いね。」「この岡田武松博士、廊下に絵が飾ってあるよ。」など、友達と相談しながらも自慢したいものをどんどんと集めていきました。

次に全体で自慢したいものを発表し合いました。地域の方の協力で全校でお神輿を担いだ体験から「布佐の神輿を自慢したいな。」と発表した児童や、中学校区の出組から「布佐小学校、布佐中学校との3校合同レクを自慢したい。」と発表した児童がいました。布佐にはたくさんの歴史と、それを繋ぐ人々、手を取り合って学ぶ学校があることに誇りをもって、学習を進めていきます。作成していくすごろくの完成が楽しみになる授業でした。